

# 住民税【特別徴収】のおしらせ 届いていませんか？

## 三島民商ニュース

2011年11月21日号  
三島市富田町3-8  
三島民主商工会  
TEL 055-975-7652  
FAX 055-971-7044

今、全国の自治体で個人住民税の普通徴収から特別徴収への切り替えが進められています。

これは、所得税の源泉徴収義務のある事業者は、従業員の住民税を給与から天引きして納めることが必要」と謳い、3人以上の従業員のいる事業所に「住民税の特別徴収のおしらせ」を送付しているようです。

**一見、納税者に親切  
そうに見えますが…**

【普通徴収】は、納税者自身が年4回納期(6、8、10、翌1月) 納付書と一緒に金融機関で納付しますが、特別徴収は事業所(事業主)が、源泉所得税と同様に、納税者の給与から住民税の年額を12分した額を月々天引きして、事業者が納税者に代わって、自治体に納税するシステムです。

一見、納税者自身の手間も省けるし、年4回より12回の方が、負担が小さくて特別徴収の方がいいんじゃないか？と思われがちかもしれませんが、…ですが、複数いる従業員が、それぞれ違う市町村に在住している場合は、各市町村から納付書が届き、事務負担も増えます。また、従業員が退職したときには、翌10日までに「異動届」を出さなければ、遅れた分の納税は滞納額とな

り、納税義務者(事業主)に対して、一度に多額の住民税の納付義務を負わせること、静岡県 個人住民税 特別徴収の事務手引き」に記載されています。

これは、自治体が滞納処理を事業者に転嫁するものです。断じて許すわけにはいきません。

三島民商は、住民税の特別徴収は一律強制せず、事業所の実情に応じて、普通徴収も認めるなど柔軟な対応を求めていくように、自治体に交渉していきます。

**地方税(住民税・固定資産税など)  
支払いに困ったら悩まず民商へ…**

毎年、底なしに更新されるこの不況。仕事が無いのに、去年の所得に課税される住民税の支払いに、困難な方がたくさんいます。

ひとりでは悩まず、まず民商へ 勇気を持ってご相談ください。

一定の条件が必要ですが、徴収の猶予という納税者権利主張できる申請方法もあります。一緒にベストな解決方法を導き出しましょう。



## 特別徴収 Q & A

※静岡県【個人住民税 特別徴収の事務手引き】より抜粋※

**Q** 個人住民税の「特別徴収」とは 何ですか。

**A** 事業者(特別徴収義務者)が従業員(納税義務者)に対して毎月支払う給与から、個人住民税額(市町民税+県民税)を天引きし、従業員に代わって その従業員に課税した市町に納入する制度です。

**Q** 手間も増えるので「特別徴収」は行いたくないのですが…

**A** 事務の増加や経理担当者がいないといった理由で特別徴収を行わないことは、法令上認められません。地方税法の主旨に沿った適切な徴収義務を果たしていただくために御理解と御協力をお願い致します。

**Q** 従業員から普通徴収にしてほしいといわれているのですが…

**A** 法定要件に該当する 全ての事業者を、特別徴収義務者として指定しますので、従業員が個々に徴収区分を選択することは認められていません。

**Q** すべての事業者が従業員の個人住民税を特別徴収するのですか。

**A** 本来、給与の支払いをする際に、所得税を源泉徴収して国に納付する義務がある事業者は、原則、個人住民税についても特別徴収を行っていただく必要があります。静岡県では平成24年度から全県一斉で特別徴収義務者の指定を実施しますが、次の場合については、当分の間普通徴収とすることがあります。

- \* 総受給者数が3人未満(※)
- \* 専従者
- \* 他から支給される給与から個人住民税が天引きされている
- \* 毎月の給与支払額が少なく、個人住民税を特別徴収しきれない
- \* 給与が毎月支給されていない(不定期)

※ 総受給者数とは、市町単位での人数ではなく事業所全体の受給者数をさします。ただし、上記のその他要件に該当する者を除く人数とします。

共済会&婦人部主催

少し早い紅葉を見ながら行って来ました! (^\_^) /

# 【大井川鐵道SLで行く長島ダム】バスツアー

11月5日(土) 11月とは思えないほどの暖かな日、民商事務所を朝7時に出発。今年8年前に訪れた「大井川鐵道SL」の旅。今回は、千頭駅から寸又峡へ行きましたが、今回は井川の更に奥、日本一の急勾配をもつ、井川線(あぶと式トロッコ)に乗って、長島ダムに行ってきました。

様々な楽しみを盛り込んだ今回の旅でしたが、そのうちのひとつ「紅葉」は、やはり11月の初旬ということもあり、ほんのり紅く色づいている模様。参加者は子どもも含めて43名。子どもたちの中には、生まれて初めて、秋の紅葉の中、こんな山奥まで来た子も。感想を聞いてみると「山の頬が紅く染まってきてるみたいだった!」「きれいだった!」など子どもらしい感想も。

もうひとつの楽しみだった、SL乗車。昭和17年から現在まで現役で走っている、SL機関車や客車も70年近く走り続けている。これらには年輪が重なっている大樹のような趣がありました。

また、千頭駅から乗り換えたい【あぶと式トロッコ】列車。私たちの終着駅の\*長島ダム駅の一つ手前の駅\*アプトいちしろ駅\*で、鐵道日本一の急勾配に備え、このトロッコ列車を連結。急勾配を登っているとき、乗客からは「おお〜」と歓声があがっていました。

今回、初めて参加された会員の方も、たくさんいらっしゃいました。感想や道中の写真を下に掲載します。毎年開催しているバス旅行です。来年は、来春オープンする【東京スカイツリー】見学ツアーを計画しています。おたのしみに!

## ALBUM

=SLの車中にて=



ツアー最終目的地【長島ダム駅】ホームにて 参加者全員で記念撮影



### 【SLで行って来た長島ダム】

13年前に主人と来たことのある 今回の目的地である【長島ダム】。そのときは、自動車遊びにきましたが、あのとき未だ建設中だった長島ダムを見てみたいという気持ちもあったり、SLや電車の好きな孫たちと一緒に参加しました。

新金谷駅から千頭駅まではSLに乗車。SLに乗るのが、初めての孫たちは窓を開けたため、煙が目に入ったと笑い騒いでいたり、客車一両ずつ車掌さんがハーモニカで「ふるさと」を吹いてくれたり、賑やかに参加者と歌いながら1時間30分の乗車はアツという間に過ぎてしまいました。沿線には三脚を立ててSLの写真撮影にきている方たちが手を振ったり、雄大な大井川の風景と茶畑や山々の黄色く色づく紅葉を満喫してきました。

千頭駅からは、井川線に乗り換え、赤いトロッコに乗って長島ダムまで。井川線は全長の3分の1が橋とトンネルだそうです。遠方には南アルプスが見え、古い列車でスピードがない、ガタゴト…揺れ、音は大きいし外を見れば、恐ろしく高い所を走っていてビックリ!!

アプトいちしろ駅から長島ダムまでの急勾配は日本一だそうです。この日本一の急勾配を登り降りするには、特別な2台の機関車が必須。登り切った長島ダム駅で後ろを見たらスゴイ勾配でした。

帰り際には、長島ダム駅ホームでみんなで記念撮影。

とても楽しい一日でした。また来年も参加したいと思います!!

北支部 サトー工務店 佐藤和子